



データシート・キャプチャ・汎用インターフェース

ERP が顧客対応と連携していませんか？ JSON フィードがあれば十分に、エージェントは状況を把握できます。

汎用インターフェースは、ERP、ショップ、WMS の注文、出荷、仕入注文、価格を同期します。インジェスト URL へのプッシュ、または HTTPS の JSON 応答の取得（プル）で行います。Web サイトのチャットと対話エージェントは、このデータを使って回答します。

一目でわかる

接続は四つです: インジェスト URL へのプッシュ、REST のプル、JSON ファイル、JSON レコード。フィールドは JSON のドットパスで割り当て、プレビューでは保存せずに最大 20 件のレコードを確認できます。

01・概要

データは ERP にあります。 エージェントがそれを読み取れます。

ERP、ショップ、倉庫は、すべての注文がどこにあるかを把握しています。それでも状況の問い合わせはチームに届き、担当者が手作業で調べています。お使いのシステムが HTTPS で JSON を送信または提供できるなら、汎用インターフェースがそのデータをエージェントに届けます。

入力

HTTPS 経由の JSON。インGEST URL へのプッシュ、または応答やファイルの取得

結果

キーと統一ステータス、検索用フィールドを備えたミラーされたレコード

回答

Web サイトのチャットと電話で、お客様が証明を示した後に

方向

データは PaperOffice へ送られます。お使いのシステムへ書き戻すことはありません

**インGEST URL へのプッシュ**

お使いのシステムは HTTPS で、一回のリクエストにつき最大 500 件のレコードを送信できます。トークンは URL かヘッダーに含めます。トークンを変更すると、すぐに有効になります。

HTTPS の JSON API を取得

PaperOffice は指定した間隔で応答を取得します。サインインは Bearer トークン、API キー、またはカスタムヘッダーで行い、シークレットは暗号化して保存されます。

JSON ファイルと JSON レコード

HTTPS で JSON ファイルを取得するか、JSON レコードをソースに直接保存できます。

ドットパスによる割り当て

配列、キー、ステータスのパスに加え、注文番号、郵便番号、電話番号、追跡番号、SKU、EAN、仕入注文の検索用フィールドを割り当てられます。

統一された出荷ステータス

PaperOffice は、発送済みや配達済みなどの既知の原値を、固定のステータスに対応付けます。受け取り待ち、輸送中、本日配達、配達済み、例外的いずれかです。

保存せずにプレビュー

ミラーに反映される前に、最大 20 件のレコードをテストとして割り当てられます。その下には、すでに保存されているキーが表示されます。

02・仕組み

接続、割り当て、 プレビュー。

Web アプリでソースを追加し、フィールドを割り当て、保存の前に結果を確認します。その後、対話エージェントが回答します。

1

接続を選ぶ

Knowledge Base AI > 運用ソース で ソースを追加 をクリックし、プッシュ、REST のプル、JSON ファイル、JSON レコードから選択します。プルには公開の HTTPS URL が必要です。

2

フィールドを割り当てる

マッピング タブで、配列、キー、ステータスのパスを設定します。例: data.orders と order.number、さらに検索用フィールドも設定します。

3

プレビューを実行

保存せずにプレビュー で、ソースから最大 20 件のレコードを割り当てます。キーとステータスが正しければ保存します。

4

本番稼働

プッシュの場合は 取り込みURLをコピー で、お使いのシステムにアドレスを登録します。プルの場合は 今すぐ同期 を選びます。証明は 証明書類 タブで設定します。

技術データ

機能	詳細
接続	プッシュ（インGEST URL）、REST のプル（HTTPS の JSON）、JSON ファイル（HTTPS）、JSON レコード
形式と宛先	HTTPS 経由の JSON。ポート 443 の公開先のみ、リダイレクトは無効
プッシュ	POST ごとに最大 500 件、8 MB まで。ソースごとに 10 分間で最大 60 回の POST
プル	実行あたり最大 500 件のレコード。間隔は 15 分から 7 日まで。加えて 今すぐ同期
コレクション	注文、出荷、仕入注文、価格
プルのサインイン	Bearer トークン、API キー、またはカスタムヘッダー。シークレットは暗号化して保存
REST API	POST /knowledge/ops_source_add、ops_source_preview、ops_source_sync、ops_ingest

03・実際の活用

汎用インターフェースが 毎日の業務で役立つ場面。

独自 API を持つショップ

オンラインショップが未処理の注文を JSON で提供します。PaperOffice は一定の間隔で取得し、注文番号と郵便番号の入力後に、エージェントがお客様へ出荷状況を伝えます。

倉庫からのプッシュによるレポート

WMS は出荷のたびに追跡番号をインジェスト URL へ送信します。PaperOffice は受信時にそれを取り込みます。大量の在庫は、最大 500 件ずつのバッチで届きます。

本番前のテスト

IT 担当者はプル用の URL を入力し、プレビューで 20 件のレコードを確認します。キーとステータスが正しいことを確かめてから、保存と同期を行います。

よくある質問

どのシステムを接続できますか？

JSON を HTTPS で送信または提供できるシステムなら何でも接続できます。例: ERP、ショップ、WMS。JTL-Wawi と Halted には、そのための既製のレシピがあります。

PaperOffice は、私のシステムへ書き戻しますか？

いいえ。データは PaperOffice にのみ流れます。プッシュとプルは、ミラー内のレコードを作成または更新します。

プッシュとプル、どちらが適していますか？

システムが能動的にデータを送信する場合はプッシュが適しています。POST ごとに最大 500 件まで送れます。HTTPS で JSON 応答を提供する場合はプルが適しています。実行ごとに一件の応答で、最大 500 件まで扱えます。大量の在庫は、プッシュでバッチに分けて送信してください。

フィールドはどのように割り当てますか？

マッピング タブで JSON のドットパスを使います。例: 配列パスには data.orders、キーパスには order.number を指定します。元のオブジェクト全体を保存することも、個々のフィールドを割り当てることもできます。

はじめに

システムを接続し、ステータスの問い合わせを任せましょう。

Web アプリにサインインし、[Knowledge Base AI](#) > [運用ソース](#) でソースを追加してください。保存の前に、プレビューで結果を確認できます。

paperoffice.ai/ja/ai-erp-shop-universal-interface-push-pull



モジュールの詳細

paperoffice.ai/ja/ai-erp-shop-universal-interface-push-pull

料金

paperoffice.ai/en/pricing

お問い合わせ

paperoffice.ai/ja/otoiawase